

「地域の企業」と「芸工大」をむすぶ

おむすび 21



「特集1」

後援会会員探訪 ⑧

信頼でつながる
管工事業の現場。

【黒澤建設工業】

水と空気の地方インフラを支える

「特集2」

卒業生に聞く ⑧

地域に根ざした
「建築づくり」を目指す。

【本間利雄設計事務所】

武山加奈さん / 石井大智さん / 真壁洋志さん
地域の需要を見極めて長く愛される建築をつくる



信頼でつながる 管工事業の現場。

【黒澤建設工業】
水と空気の地方インフラを支える。

黒澤建設工業株式会社は、
地域インフラを含む水道設備工事や
機械設備工事、管工事業の設計・施工などで
私たちの暮らしを支えています。
事業内容や仕事と技術に対する向き合い方について、
代表取締役の黒澤友晴さんと
そこで活躍する卒業生にお話をうかがいました。



取材〓小野田壮大、稲毛奏空、田口陽菜、小仲実桜、佐藤音々
文〓佐藤音々
写真〓岡崎真人 (Office AKIRA) / 黒澤建設工業

右から
設計積算部
押切 志織さん
おしきり・しおり
(2022年 建築環境
デザイン学科卒業)
代表取締役
黒澤 友晴さん
くろさわ・ともはる
工事部 技術サービス課
第2グループ
小野 晃汰さん
おの・こうた
(2022年 建築環境
デザイン学科卒業)

長い歴史が生み出す
多彩な事業展開

―はじめに、御社の事業内容について、教えていただけますか。―

黒澤.. 建設業の管工事業になります。管工事業というのは、「管」ですから、地域インフラを含む水道設備工事、建築物の空調衛生設備工事と給排水衛生設備工事、それから機械設備工事を行なっております。それらの設計、施工の部分を担当しています。

―黒澤建設工業の同業他社にはない特殊な部分や、唯一無二な点はなんでしょう。―

黒澤.. 弊社は黒澤グループという事業体で、設計事務所、施工、メンテナンスと、ひとつのサイクルが回っているような形で運営しております。あまりこういう形態を持っている会社はないかもしれません。弊社は2027年10月1日に創業90年を迎えます。管工事業としては古い歴史があります。

―山形県内で手がけられたもので、代表的な事業を挙げていただけますか。―

黒澤.. 現在、モンテディオ山形の新スタジアムを建設中です。2028年夏の完成予定で、弊社の設備工事スタッフが常駐しています。それから山形市役所庁舎、山形メディアタ

ワー、山形県立中央病院、山形裁判所や文翔館の増築工事も担当しました。市内の主要な施設は弊社が関わっています。天童では、天童市役所、天童市市民文化会館、天童市立第一中学校、第二中学校、第三中学校など。大きいパブリックな建物、目にするものは何かしら施工していることが多いですね。

―設計する際、要望に応えるために意識していることはありますか。―

黒澤.. 設計者さんと緻密に相談しながらつくっていくところが、我々の仕事の特色かなと思います。たとえば、部屋が暖まらなかったり、涼しくならなかったりするといけません。やまぎん県民ホールも施工していますが、ホールは特殊な要望があり、残響音が数デシベル単位の世界の仕事です。そういったところを責任者さんと一緒に考えてつくっていく点に、信頼につながっていると思います。他にも、たとえばホテルや旅館のお風呂が止まったらお宿の失態になってしまいます。病院では人の命がかかっていますよね。我々はチームで作業をし、お客様に支えられてきたからこそ、ここまでできています。商社、建築家、設計業者、電気技師といった方々がいて、他にも専門業者の職人さんたちとのつながりとお互いの信頼関係で、一体となつてつくり上げていきます。そうすると、だんだんと顔なじみのチームになってくる。それが阿吽あうんの呼吸にな

〈黒澤建設工業 沿革〉

1937年10月 (昭和12年)	東京都大田区に黒澤製作所を創立
1942年 4月 (昭和17年)	株式会社黒澤製作所に改組 初代社長に黒澤湊就任
1943年11月 (昭和18年)	第二代社長に黒澤マサ子就任
1946年 (昭和21年)	山形に移転
1949年 1月 (昭和24年)	天童支店を開設する
6月	社名を黒澤建設工業株式会社に改める
10月	仙台支店を開設する 建設業許可を受ける
1953年12月 (昭和28年)	第三代社長に黒澤茂就任
1964年 4月 (昭和39年)	酒田営業所を開設する
1966年 3月 (昭和41年)	山形市緑町に本社を移転する
1975年10月 (昭和50年)	山形市花楸に本社を移転する
1986年10月 (昭和61年)	第四代社長に黒澤洋就任
1991年10月 (平成3年)	株式会社テクノ黒澤を設立する
1992年 4月 (平成4年)	東根営業所を開設する
1999年 4月 (平成11年)	新庄営業所を開設する
2000年11月 (平成12年)	米沢営業所を開設する
2012年11月 (平成24年)	平成24年度山形県建設技術協会 会長賞「山建賞」受賞
2013年 5月 (平成25年)	第五代社長に黒澤友晴就任
2017年10月 (平成29年)	創業80周年
2019年 6月 (令和元年)	(株)黒澤設備デザイン研究所を設立
8月	やまがた子育て・介護応援いきいき企業 優秀(ダイヤモンド)企業認定
2020年12月 (令和2年)	地域未来牽引企業選定
2021年 7月 (令和3年)	全建賞受賞 (山形県総合文化芸術館整備事業)
2023年12月 (令和5年)	やまがたスマイル企業 ゴールドスマイル企業認定
2024年 2月 (令和6年)	健康経営優良法人 (中小規模法人部門) 2024認定 継続認定 2019年より継続認定



黒澤建設工業株式会社 本社



舞鶴山配水池の建設工事に携わった関係者による集合写真(1950年)

います。そういう改修工事の需要が増えてきたこともありますね。さまざまな法整備も整ってきていますので、エコとCO2削減に力を入れるのではないかと思います。

――黒澤設備デザイン研究所についてはいかがでしょう。

黒澤..じつは芸工大さんと設計して、工事をさせていただいているということと、黒澤設備デザイン研究所はクリエイティブな事務所にしたという思いがあったからです。その頃に広報部を設けたので、弊社のさまざまな宣伝活動のためのクリエイティブ部門と一緒に、場所がとても合うことも理由のひとつ

る。我々は山形に根ざしていますが、培ってきたお客様からの信頼感がひとつの財産だと思っています。

独立を通してつながった
山形との縁

――当初は東京で開業されたのですが、どのような経緯で山形に移転されたのですか。

黒澤..創業者の黒澤湊社長は、元々は学校の先生だったんです。2代目の妻のマサ子社長は音楽の先生でした。昭和初期、先生という職業は十分な収入が得られなかった。そこで、手に職をつけるために創成期の高砂熱学工業に入社し、鋳物職人として働きはじめます。従業員は当時は30人ぐらいいきいかなかったということです。学校に設置された「ラジエーター」という暖房器具をつくったり、組み立てたりしていました。湊社長は計算に強かったといえます。

東京で独立した時、ちょうど第二次世界大戦がはじまって、国の強制下請けになりました。山形の山辺町に銃弾の製造工場を設置する計画を進めていたのですが、完成前に終戦を迎えました。終戦に伴い、海軍の神町航空基地が米軍に接収され、進駐軍の神町キャンプの建物をつくることになりました。当時の山形には業者がいなかったため、大成建設さんや戸田建設さ

「山形の火を消したくない」
設立に込めた想い

――「やまがたクリエイティブシティセンターQ1」にある黒澤設備デザイン研究所やテクノ黒澤についてお聞かせください。

ん、鐘淵紡績さん(旧カネボウ)、中島飛行機さん(のちの富士重工工業、現SUBARU)といった大企業と仕事をするようになります。ちょうど天童の温泉町も栄えはじめる頃で、旅館を間借りして職人さんを増やして工事に当たったのが、天童市に來た流れです。そして昭和41年、社屋を山形市緑町に移しました。



気さくに受け答えしていただいた黒澤友晴代表取締役

黒澤..弊社から卒業した方々は、その後独立して、設備設計事務所を設立する方がけっこうおられるんです。しかし、設備設計事務所は全国的に、山形県でも後継者不足です。県内に設備設計事務所がなくなれば、県外に依存しなければならなくなる。山形は寒冷地仕様ですから、それが考慮されなくなる恐れがあります。これは仕上りの面でお施主さんにも迷惑をかけますし、第一に山形の設備設計の灯を消したくないという思いで設備デザイン研究所をつくりました。山形独自の気候と機器の変動に対応することを目指して、研究所と銘打って設備設計をやっています。ホームページにある「不易流行」という言葉が、まさにそうです。

テクノ黒澤は、工務部というメンテナンスをする部署が独立した形になります。アフターサービスの会社としてつくりましたが、設立当時はまだメンテナンスという考え方はありませんでした。設立しようと思った理由は、メンテナンスと改修物件が増えてきたからです。景気のいい時は新築物件がたくさん建つんですが、各自治体も予算の都合があるので、新築はしないでリノベーションする方向にあります。今は高度経済成長期の建物を建て替えるくてはいけない時期にきています。すべて建て替えていたら県も市も予算がなくなってしまうので、できるところから少しずつ変えて

つです。いろいろなご縁の中で引越させ
ていただきました。

今の設備設計事務所は、女性が多いんです。芸工大の卒業生も3名従事していて、その内2人が芸術学部です。

卒業生が語る
入社決め手

——小野さんと押切さんにお聞きます。おふたりが担当している業務内容と、印象に残っている業務があれば教えてくださいませんか。

押切.. 私は現在、他の設計事務所に勉強も兼ねて出向させていただいております。印象に残っていることは、初めて現地調査から設計までひと通りやったことです。実際に、まだ何も建っていない更地の敷地を見て、インフラがどこまで整っているかを調査しました。他社の設計事務所さんから届いた計画図・建物の配置を照らし合わせて、そこから配管を引いていく設計をしていたので、かなり勉強になりました。車で通ると、設計した実感が湧いてきます。実際にちゃんと運用されていると、うれしく思いますね。

小野…私は工事部の技術サービス課にいます。工場ではそこら中でいろんな機械が動いている、エアーを吹き出す機械や空調もあります。



配管設備の点検をする小野さん

AI活用と
人材育成のこれから

—— 昨今、急激な技術革新によってAI分野が進んでいます、仕事の仕方に変化はありますか。

黒澤…手書きの図面から^{※1}CADになって今は^{※2}BIMに移行しています。土木系はドローンとか、いろいろありますね。実際、世の中で言われているようなさまざまなテクノロジはありますが、まだ実務で使えるレベルにはなっていないんです。今後、極論はAIとロボットになります。ですから、その過程の中で、単なる「テクノロジ」の問題ではなく「人

し、水の配管もあります。冬場の凍結や不具合が起きたら直接見に行きます。図面だけではできない計画から施工を含め、実際にどう動いていくかを、お客様の要望を聞きながら実現していく。改修の時は「エアコンを何台残して」とか、「ここは少しずつ施工しよう」とか、細かく計画を立てなければなりません。その仕事をする上で大切にしていることは、お客様が何を要望しているかを考え抜くこと。自分の中で想定しておかないと、提案する時に「これはいらんんじゃないか」とか「ちよつとコストが高くない?」と懸念されてしまうので、自分でベストを考えて、提案して、調整していく過程も大切なと思います。

—— おふたりが入社する前年にコロナ禍が始まりました。就職活動でも制約があったかと思いますが、この会社に入社することになった決め手はなんですか。

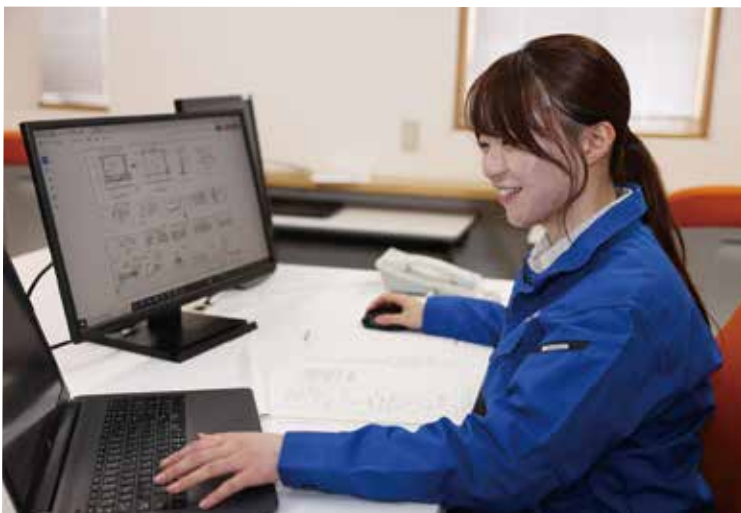
押切… オンラインで会社説明会をたくさん受けていたんですが、どれも響くものがありました。何社かに現地の見学をお願いしても、コロナ禍で実際に作業されている方とお話はまったくできませんでした。その中で、黒澤建設工業は個別対応で見せてくれたんです。それこそ、会社内部はほとんど見せていただきました。あとはテクノ黒澤と、黒澤設備デザイン研究所に挨拶に行ったり、わかるところまで現場を見せていただいたりしたお

間は何をすべきか」という哲学的なテーマへと発展していくのではないでしょうか。

一方で、昭和40年頃に、弊社3代目社長の黒澤茂が全管連副会長を拝命し、組合月刊誌へ「建設設備業の課題」という記事を寄稿しました。挙げていたのが技術者不足。あとは、テクノロジーによる技術の衰退。結局、今も同じことを言っています。だから、今も昔も変わらないう。絶えず同じ課題に取り組んでいるんだと思っています。

——幅広い年代の方が働いていらつしやると
 思いますが、デジタル化によって不便になっ
 たことはありませんか。

黒澤…父（4代目黒澤洋社長）が入社して初めにやったことは電卓の購入で、それに対してたくさんの反発が出たんです。「そろばんの味というものがある」と。それと変わらないですね。手で図面を描く人はCADができない。もうだいたいなくなりましたが、技術にはその人が持つている文化があります。テクノロジーに關しても、新しいものに飛びつけばいいのにかという間もある。ちなみに、この大会議室の壁はホワイトボードで、当時としては非常に画期的だったんです。でも、あまり利用されませんでした。今は当たり前になっていますが、進みすぎてもいけない。速度を合わせなきゃいけない。待つのも必要だと思います。最新テクノロジーを本当に皆さんが利用できる



パソコンに向かって作業をする押切さん

かげでかなり早く会社を理解することができ、魅力的に感じました。会社の雰囲気も静かで清潔感もあり、仕事がいやしいと感じたので入社を希望しました。

小野・僕は建築・環境デザイン学科に入った時点で、建設関係に関わりたいと思っていました。建物よりも、エアコンや水の流れのほうに興味があつたんです。そこで、設備関係の会社を見て回りましたが、当時はオンライン面接ばかりであり現場を見せてもらえませんでした。黒澤建設工業は対面で説明を聞くことができ、現場の見学などを通して、入社を決めました。

のか。開発にはお金がかかりますから、その費

用はどうなるのか。我々は地方の中小企業です。ので、開発はお金をいっぱい持っている大手企業にしてもらって、それを利用するというやり方もあります。そういうところを見極めて導入しないと、一番苦勞するのは社員です。会社として「うちはこんなのをやっています」と宣伝したとしても、使われなければ意味がない。ここ10年ほどはあまりスピードを上げないようにしてきましたが、AIに関してはいろいろな考えています。

私の子どもは、写真を撮って、SNSで顔を出しても平気な世代です。でも、ちょっと年齢が上がると顔を出したくない人がいる。これからは、検索でAIを当たり前に使う社員の人たちが入ってくる。そうすると、会社のさまざまな情報もほとんどん外部に流れていく。導入する前にまずやるべきは、AIのリテラシー教育だと思うので、春頃から取り組んでいく予定です。

黒澤建設工業株式会社

山形県山形市花楸2丁目9番21号

<https://kurosawa-gr.jp/>



編集部では、後援会会員企業と卒業生・在学生の協働した事例を積極的に紹介してまいります。会員の皆様からの情報を心よりお待ちしております。



高橋 良さん
たかはし・まこと
常務執行役

武山 加奈さん
たけやま・かな
2016年
デザイン工学部
建築・環境デザイン学科卒

石井 大智さん
いしい・だいち
2023年
デザイン工学部
建築・環境デザイン学科卒

真壁 洋志さん
まかべ・ひろし
2024年
デザイン工学部
建築・環境デザイン学科卒

本間利雄設計事務所 地域環境計画研究室の入口前

そのため、自然を人間の都合で破壊せずに、共存して建築をつくっていく。本間利雄さんは、74年にマクハークと出会い、その手法に感銘を受けた。

「本間利雄はこの手法を知ったことで、地域に生きる建築士の義務だと、75年に地域環境計画研究室という組織を立ち上げました。以来、エコロジカル・プランニングに文化的な要素を独自に組み込みながら、調査・計画を行なっています。また、地域の伝統的な民家や蔵の価値を再評価する活動もしています。こうした取り組みを通し、『地域に根ざした建築づくり』を目指しています」

「地域に根ざした建築づくり」には、その土地柄を総合的に読み解くことが必要になる。同じ山形県であっても、湿度や寒暖差、人の気質に差異があり、求められる建築が異なってくる。「雪ひとつとっても、県内各所で量や質が違いますし、風向きも変わります。屋根の形状や出入口の位置など、雪国への配慮を考えながら設計を行なわなければなりません」(高橋)

細部に至るまで配慮を忘れない。この意識をつねに抱えて設計する姿勢をスタッフ一同が共有していると、高橋常務は強く語る。



【特集2】 卒業生に 聞く⑧

「本間利雄設計事務所」
武山加奈さん／石井大智さん／真壁洋志さん

地域に根ざした 「建築づくり」を目指す。

地域の需要を見極めて長く愛される建築をつくる。

エコロジカル・プランニングを念頭に置きながら、

「東北・山形の自然や景観に相應しい

風土性溢れる建築づくり」を掲げて、

設計から工事監理までを手がける

本間利雄設計事務所。

地域に根ざした建築士として設計を行なっている、

常務執行役の高橋良さん、

東北芸術工科大学卒業生の武山加奈さん、

石井大智さん、真壁洋志さんに

お話をうかがいました。

取材〓飯塚礼人、丘葉々華、車田匠、柴田透弥

文〓柴田透弥

写真〓岡崎真人 (Office AKIRA)／本間利雄設計事務所、地域環境計画研究室

地域に生きる 建築家の義務

東北芸術工科大学のシンボルになっている本館の三角屋根は、建築家・本間利雄さんの強い提案によって生まれた。本間さんは、雪や風土、地域の建築文化を踏まえた、急勾配の「切妻型屋根」を提案した。東の戸神山を背後に、西の富神山との間にそびえる「第三の山」として、堂々たる存在感をもつ建築になった。

本間さんは地域に生きる建築家として、風土や文化に目を向けてきた。本間利雄設計事務所は現在もその理念を受け継ぎながら、教育施設やさまざま

な企業の業務施設、個人住宅など、官民間問わずあらゆる建築の設計や工事監理を行なっている。加えて、地域計画やリノベーション、インテリアデザインまで幅広く展開している。

「大手設計事務所さんとの共同設計は、事務所にとって新しい視点や考えを学ぶ機会であり、大きな財産になっています」と、常務執行役の高橋良さんは語る。さまざまな学びが新しい力となって施主に還元される。丁寧なコミュニケーションを積み重ね、要望やイメージを捉え、外観や内装、景観のデザインを思考していく。「お客様が満足してくださる建築を設計するのが、我々の仕事です」(高橋)

本間利雄設計事務所は環境保全にも熱心に取り組んでいる。事務所内に設立された「地域環境計画研究室」では、地域の風土や生態系、文化を専門家の方々と調べあげ、将来的な土地利用の適性を検討している。この活動にはきっかけがある。

アメリカの造園学者イアン・マクハークは、1966年に出版した著書『デザイン・ウィズ・ネイチャー』で〈エコロジカル・プランニング〉を提唱した。自然を破壊して都市開発を続けると、いずれは環境破壊が起きる。



山形銀行新本店ビルの外観



携わった仕事について語る石井さん

信頼関係が 次の依頼につながる

山形銀行新本店ビルを見上げながら完成を楽しみに待っている声が聞こえました。この案件にかかわることができてよかったと心の底から思いますし、仕事のやりがいにもなっています」

市民の声やクライアントからの感謝によって、本間利雄設計事務所と山形

県の建築文化は強固な信頼関係が生まれる。

「どのような要望だとしても、応える。苦勞して、設計案を練って、お客様に喜んでもらえる建築ができて、やっとな信頼していただくことができます」

2016年に建築・環境デザイン学科を卒業した武山加奈さんは、担当したプロジェクトを通して、信頼関係の大切さを強く感じた。寒河江市の日産自動車販売の店舗設計は、日産サイドが用意したビジュアルアイデンティティのガイドラインに則った設計をしなければならなかった。本間利雄設計事務所らしさとガイドラインに挟まれて、非常に苦勞したと武山さんは言う。

「内装、外装の色、必要な面積から幅や高さまで、すべて決められた基準があり、頭を抱えて設計をしました。そのおかげか最終的には信頼していただき、現在も継続してお仕事をさせていただいています。感謝の言葉もとてもうれしいのですが、それ以上にお客様とのつながりを感じて、建築士になれてよかったと思います」

本間利雄設計事務所が選ばれ続ける理由は、建築に対する真摯さと信頼関係にある。あえてPR活動はせず、これからの建築文化の発展とクライアント

地域の特性に配慮し 感謝される建築士に

真壁洋志さんは、2024年に東北芸術工科大学の建築・環境デザイン学科を卒業した。現在は建築のデザインや間取りなどの設計を行なう「意匠設計」を担当している。大型建築の設計は、施主から話を聞いて「基本構想」をまとめ、それを「基本設計」として形にする。それらをもとに、建設会社を実際に施工していく「実施設計」を立案し、最後に「工事監理」をする。

真壁さんは、少子化によって統合することになった米沢市立第二中学校と第三中学校の新校舎建築プロジェクトに携わった。

「米沢市は雪が2メートルほど積もる地域ですので、屋根を平らにすることで通路に雪が落ちない設計になっています。東北地方で多く見られる『雁木』、米沢では『小間屋』と呼ばれる屋根がついた通路を設置することで、雪の日でも足元を確保し、通学バスなどの乗り降りが安全にできる場所を確保しました」

公共建築の設計者は、プロポーザル



真壁さんの担当した中学校の完成予想図

資源の有効活用について語る真壁さん

方式により選定される。設計事務所ごとに提案書を作成し、プレゼンを行なうため、メンバーで建築に対する考えを導き出さねばならない。

「チームメンバーと密な連絡を取りながら仕事を進めていき、ひとつの答えを見つけた時にやりがいを感じます。施主さんや工事業者さんとお会い

山形の建築に ZEBを標準化する

して、『ありがとうございます』などの言葉をいただく、自分のできることを精一杯頑張りたいと強く思います」

ひとりの建築士として、地域の方に愛される場所になってほしい。そんな思いが伝わってくる。

寒暖差が激しい豪雪地帯で快適に暮らすためには、積雪荷重を耐えるための構造や断熱材など、相当のコストが必要になる。とくに、エネルギー問題は深刻だ。夏は暑く冬は寒い山形県では、電気やガスの使用量が必然的に多くなってしまう。本間利雄設計事務所では、ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の標準化に取り組んでいる。

ZEBとは、建物で使用するエネルギー量を、限りなくゼロにすることを目指した建築様式だ。設計によって建物を省エネ化し、太陽光パネルなどで創エネを行なう。

石井大智さんは、2023年に建築・環境デザイン学科を卒業した。建築設計室に所属しており、「ZEB Ready」（50%以上のエネルギー消費量



日産プリンス山形本店の整備工場

仕事のやりがい語る武山さん

トの笑顔を求めて、スタッフ一人ひとりが満足のいく建築をつくる。完成した建築こそが、次の案件の信頼性へとつながっていく。

芸工大で進行する 新プロジェクト

高橋常務を含むこの4人が設計チー

削減」を達成した山形銀行新本店ビルの設計・工事監理に携わった。

「2026年7月に七日町の大通りにグランドオープンする山形銀行新本店ビルの現場に常駐し、設計図通りに施工されているかを確認・検査する監理業務を1年間担当しました」

ガラスと黒色のフレームが際立つスマートな外観は、人の心に残る建築になっている。外ガラスと内ガラスの間は人ひとりが通れるほどの幅があり、その空間に外気が流れることで緩衝帯となり、内部に対する熱負荷の調整となっている。

「直射日光による室内の温度上昇を和らげる効果のあるダブルスキンという構造になっています。この構造が省エネ化を進めるうえで有利に働きます。首都圏の高層ビルなどで採用されておりますが、山形ではあまり見られないつくりですので、責任感を持って携わりました」

山形銀行新本店ビルはへにぎわいを「纏う」をコンセプトに設計され、最近の銀行では珍しく、低層階は誰でも利用できる空間になっている。コワーキングスペースや涼所として、市民に開かれた交流の場となっている。

「外装が完成した時に、町を歩く人が

ムを組み、現在芸工大の新プロジェクトが進んでいる。

「映像学科とグラフィックデザイン学科の増員に伴い、2027年秋に完成予定の新しい実習棟の設計を依頼されました。数十年ぶりとなる新たな実習棟は、ZEB Readyを実現した先進の環境配慮型建築で、コンクリートの外壁が際立つ芸工大らしいデザインになる予定です」と、高橋常務は語る。

さらに今回の目玉となるのが、市民の方が使える1階の共創イノベーションラボ。どのような施設になるかはこれからのお楽しみだ。

「とてもワクワクしています。とくに3人は母校の設計に携わる貴重な機会ですから、張り切っています」

芸工大の卒業生3人は、地域に根ざした建築士として、これからも山形県の建築史に刻まれる建築を生み出し続けていくのだろう。



本間利雄設計事務所

山形県山形市小白川町4丁目13-12
<https://www.thaa.co.jp/>

編集後記

本誌は、長岡ゼミ3年生9名がふたつのグループに分かれて制作しました。自らの仕事に責任と誇りを持って取り組む企業の方々の姿は、就職活動を始めた私たちにとって大きな刺激となりました。地域や社会と真摯に向き合う情熱に触れ、私たちが目指すべき社会人像がより明確になりました。学生のうちにできることはしっかりと吸収し、成長の糧にしたいと思います。取材にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。(丘)



右：黒澤建設工業のイメージキャラクター「く〜みん」との集合写真。非常にかわいらしく、癒されました／左：本間利雄設計事務所でのインタビューの様子。スライド資料を準備していただき、最新の建築技術に驚かされました



おむすびとは

山形を一緒に盛り上げていきたいという想いを込めて発刊された、地域の企業と芸工大をむすぶ広報誌「おむすび」。山形の地で活躍する芸工大の卒業生を集めることにより、芸工大の魅力について知ってもらいたいという思いが込められています。



後援会
ホームページは
こちらから



後援会会員

335社(2026年8月31日現在) 五十音順

(株)アートエッグ／あいおいニッセイ同和損害保険(株)／愛和建設(株)／青空観光(株)／(有)湯妻／(株)浅倉工業／(株)朝日測量設計事務所／アサヒビール(株)南東北支社／(株)アサヒマーケティング／(株)あじまん／東の麓造(株)／(株)AZOTH／(株)阿部長商店／税理士法人AMAGUCHIパートナーズ／(株)荒正／アルティウスリンク(株)／(株)石川／(株)いそのボデー／(株)山村工務店／(株)井筒屋／(株)イベントプロデュースガッツ／岩崎雅幸行政書士事務所／(株)ウエノ／羽陽建設(株)／うるしやまタクシー(株)／(株)ウノハウス／(株)エイアンドシー／(株)SHG・山形ブランド／SMBC日興証券(株)山形支店／(株)エスバック／NTT東日本(株)山形支店／(株)エフエム山形／(株)エム・エス・アイ／(株)エル・サン／遠藤商事(株)／(株)近江建設／(株)オーイシ／(株)大江車体特装／オーエスケー(株)／(株)大風印刷／(株)大久保硝子店／太田産商(株)／オオホリ建託(株)／岡崎医療(株)／(株)オカムラ／(株)小川製麺所／(株)奥山商店／小野建設(株)／オビサン(株)／OFFICE AKIRA／オブテックス工業(株)／おもてなし山形(株)／オリエンタルカーベット(株)／(株)カーサービス山形／(有)鏡量店／鹿島建設(株)東北支店山形営業所／(株)カスカワスポーツ／(株)克技術設計／月山観光開発(株)／(株)金入／(株)カバンのフジタ／(株)上山温泉ホテルあづま屋／(株)カルラ／(学)菅藤学園 南山形幼稚園／技研(株)／料亭亀松園／(株)梓屋本店／(株)きらやか銀行／(株)銀山荘／(株)きんてん東北支社／(有)グッピー園／(有)グリーン・プランテーション／(株)クリンシステム／(株)クリエイティブスタッフ／黒澤建設工業(株)／芸工大前不動産／(福)敬寿会／京浜パネル工業(株)／(株)建設テクノ／(株)KOEI／(株)後藤建設／後藤電子(株)／コマツ山形(株)／(株)コミノ／(株)小森マシナリ／近藤工業(株)／斎藤マシニング工業(株)／(株)財務サポート／蔵王国際ホテル／(株)蔵王サプライズ／(株)蔵王自動車学園／(株)蔵王ミート／酒井造園／寒河江印刷(株)／(株)寒河江測量設計事務所／坂部印刷(株)／サクサテクノ(株)／(株)ささき(ブライダルハウスささき)／(株)ササキハウス／佐藤眼科医院／佐藤繊維(株)／(株)佐藤松兵衛商店／(株)サニックス／三協コンサルタント(株)／サン工業(株)／(株)三光社／(福)山形サンシャイン大森／(株)三瓶工業／三和繊維(株)／(株)JIC仙台支店／(株)JSCコーポレーション／東北支社／(株)JTB山形支店／(株)JES設計／(株)シェルター／(株)志録園／(株)四山楼／(株)ImoTec／ジャスト(株)／(株)ジョイン／(宗)勝因寺／(株)SHONAI／(株)荘内銀行／(株)尚美堂／新山形ホームテック(株)／(株)秦・伊藤設計／進和ラベル印刷(株)／(株)鈴木製作所／(医)清水会／精英堂印刷(株)／(医)清昌会／(有)末広不動産／(株)青陵社／セコム(株)山形統轄支社／(株)セロン東北／全国農業協同組合連合会山形県本部／(株)ソア／(株)そめこや本店／損害保険ジャパン(株)山形支店／(株)大商金山牧場／(株)ダイバーシティメディア／(株)太平洋不動産／ダイワボウ情報システム(株)山形支店／高島電機(株)／(株)高梨製作所／高橋一夫公認会計士事務所／(株)高橋型精／高橋畜産食肉(株)／(株)タカハタ電子／(株)高木／(株)タキザワ／(株)多田農園／(株)田中工務店／(株)丹野／(株)丹野園茶舗／(株)丹野こんにやく／(株)千歳建設／千歳不動産(株)／(株)チノ山形事業所／(株)チャンピオン／長文堂／(株)千代田商事／(株)塚田会計事務所／(株)つたや／変若水の湯つたや／(有)ツルヤ商店／(有)手塚橋本法律事務所／(株)テラス／(株)テレビユー山形／羽根酒造(株)／天童環境(株)／(株)天童ホテル／(株)天童木工／(株)でん六／東栄コンクリート工業(株)／東京海上日動火災保険(株)山形支店／東ソー・クォーツ(株)／(有)東北環境総合サービス／(株)東北テレネット／東北電化工業(株)／東北電力(株)／東北電力ネットワーク(株)／山形支社／東北バイオニア(株)／(株)東北ハム／(株)東北バンキングシステムズ／トエイ工業(株)／(株)トップ・アート・セクション／(同)とびしま(株)富岡本店／(株)とみひろ／トヨタコロラ山形(株)／(株)トヨタレンタリース山形／内外緑化(株)／(株)ナウエル／(株)水井設計／(株)長沢燃料商事／永田歯科医院／(有)長門屋／那須建設(株)／(株)nanoha／ナブコシステム(株)山形支店／西東北日野自動車(株)／(株)にしむら／NPO法人虹のネットワーク／日東ベスト(株)／NITTOKU(株)／日本アパカル(株)／日本・アルカディア・ネットワーク(株)／日本生命保険相互会社山形支社／日本地下水開発(株)／日本刃物(株)／(株)日本プレス広告社／(株)ニューテックシンセイ／沼澤歯科医院／ネットワーク山形(株)／野川商事(株)／野口鉱油(株)／野村證券(株)山形支店／(株)ハイスタッフ／(株)ハイテックシステム／(株)羽田設計事務所／(株)ハ文字屋／(株)萬国屋／(株)半澤鶏卵／(株)平吹設計事務所／ファースト興産(株)／藤庄メディアプラス(株)／フジテック(株)東北支店／富士フィルムB1山形(株)／富士フィルムビジネスイノベーション／(株)ションジャパン(株)／布施弥七京染店／(有)丹形マッシュルーム／古澤・内藤法律事務所／(株)フロット／ベア・ロジコ(株)／平成タクシー(株)／(株)ペガサスバス／(株)保志／(株)ホシカワ／(株)ホリエ／本間建設(株)／(株)本間利雄設計事務所／(株)升川建設(株)／(株)丸九大屋／(株)マルセン醤油／(株)マルゼン山形営業所／丸善雄松堂(株)仙台支店／(株)丸後／丸松物産(株)山形工場／丸和熟処理(株)／ミクロン精密(株)／(株)みずほ銀行山形支店／三井住友海上火災保険(株)／(有)みゆき会／みよし工業(有)／メイク美創(株)／(有)名月荘／明立工業(株)／(株)メコム／(株)モス山形／(株)モンテディオ山形／(株)ヤガイ／(有)矢口／八千代交通(株)／(株)山形アドビュロ／山形いすゞ自動車(株)／農事組合法人山形おきたま産直センター／山形ガス(株)／(株)山形銀行／山形空港ビル(株)／(株)山形県観光物産会館／山形県行政書士会／山形県護国神社／(株)山形県自動車販売店リサイクルセンター／(株)山形県食肉公社／山形県水産(株)／山形建設(株)／(公社)山形県宅地建物取引業協会／山形県民共済生活協同組合／(公社)山形交響楽協会／(株)カキザキ山形国際ホテル／(株)やまがたさくらんぼファーム／山形酸素(株)／山形市農業協同組合／(有)山形商美社／山形食品(株)／(株)山形新聞社／山形信用金庫／(有)山形第一不動産／山形ダイハツ販売(株)／(株)山形テレビ／山形トヨタ自動車(株)／山形トヨペット(株)／山形日産グループ／山形農業協同組合／山形バナナック(株)／(株)山形ビニール商会／(株)山形ビルサービス／(株)山形部品／山形グリーン(株)／(株)YSコーポレーション／山形放送(株)／(株)山形丸九／山形陸運(株)／やまがたリクルーティングサポート／山形ワシントンホテル(株)／(株)ヤマケン／(株)ヤマコー／(株)ヤマコン／(株)ヤマザワ／山新観光(株)／山新建築(株)／(株)山新広告社／山新販売(株)／ヤマセン(株)／(株)山南自動車／(株)山本組／(株)山本製作所／山和建設(株)／(株)ユアテック山形支社／(株)UKテクノロジーズ／悠湯の郷ゆさ／(株)吉田段ボール／恵楚画廊／(株)蘭企画／リコージャパン(株)山形支社／(株)リノベス／菱機工業(株)仙台支店／(株)旅館古窯／リンベル(株)／(株)レクト／(有)レンタルプラザ／(株)ローカルブライト／(株)YCC情報システム／(株)和光／和田酒造(有)／(株)わだ電気設備事務所／渡辺包装(株)